

【決算委員会】

(1) 審議概観

〔平成4・5年度決算外2件の審査〕

平成4年度決算及び国有財産関係2件は、第129回国会の召集日である平成6年1月31日に提出された。4年度決算は、第131回国会の6年12月2日の本会議において大蔵大臣からその概要報告を受け、質疑を行った後、同日、委員会に付託された（4年度決算の概要については『第131回国会審議概要』160ページ参照）。

平成5年度決算及び国有財産関係2件は、第132回国会の召集日である7年1月20日に提出された。5年度決算は、7年2月9日の本会議において大蔵大臣からその概要報告を受け、質疑を行った後、同日、委員会に付託された（5年度決算の概要については『第132回国会審議概要』332ページ参照）。

委員会においては、4年度決算外2件及び5年度決算外2件を一括して審査することとし、第132回国会において、大蔵大臣及び会計検査院長から概要説明を聴取し、全般的質疑を2回行った。

第133回国会閉会後には、省庁別審査が6回行われ、第134回国会においては、省庁別審査が更に3回行われた。

第133回国会閉会後に行われた質疑の主な項目は、①中小企業設備近代化資金の不当貸付け、②「官・官接待」問題、③阪神・淡路大震災後の対策、④財団法人郵政互助会及びその出資会社の在り方、⑤法務局職員による不正行為、⑥労災保険診療費算定基準改善要求、⑦防衛費の国庫債務負担行為、⑧国民健康保険財政調整交付金の不適正受給、⑨特殊法人改革、⑩義務教育費国庫負担金の経理不当、⑪新型転換炉（ATR）実証炉の建設中止、⑫国立大学附属病院医薬品費の予算執行、⑬年金積立金自主運用事業の赤字累増などである。

第134回国会において行われた質疑の主な項目は、①公共工事における施工ミスの防止、②日本下水道事業団入札談合事件、③ダム等大規模公共事業の見直し、④わが国の財政状況と今後の財政運営（税収・特例公債・隠れ借金）、⑤大和銀行の不正経理問題、⑥住専問題の処理、⑦国営木曾岬干拓事業の現況などである。

〔予備費関係12件及び決算調整資金からの歳入組入れ調書2件の審査〕

予備費関係12件は、憲法及び財政法の規定に基づき、5年3月から7年1月までの間の予備費の使用等について、国会の事後承諾を求めるため提出されたものである。

このうち、平成4年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その2）外2件は、第129回国会の6年1月31日に、平成5年度一般会計

予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）外2件は、同国会の6年4月1日に提出された。また、平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その2）外2件は、第132回国会の7年1月20日に、平成6年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）外2件は、同国会の7年3月31日に提出された。

4年度一般会計予備費の予算額（補正後）は2,000億円であり、このうち、5年3月10日から同年3月25日までの間に使用した金額は739億円である。4年度各特別会計予備費の予算総額（補正後）は2兆4,601億円であり、このうち、5年3月23日から同年3月31日までの間に使用した金額は382億円である。4年度特別会計予算総則第14条に基づき5年3月30日に経費の増額をした金額は3,148億円である。

5年度一般会計予備費の予算額（補正後）は1,500億円であり、このうち、5年4月20日から6年1月28日までの間に使用した金額は447億円、6年2月24日から同年3月25日までの間に使用した金額は665億円である。5年度各特別会計予備費の予算総額（補正後）は2兆4,824億円であり、このうち、5年10月1日から同年12月24日までの間に使用した金額は1,360億円、6年3月24日から同年3月29日までの間に使用した金額は131億円である。5年度特別会計予算総則第13条に基づき5年9月10日から同年10月1日までの間に経費の増額をした金額は127億円、6年3月25日から同年3月29日までの間に経費の増額をした金額は814億円である。

6年度一般会計予備費の予算額（補正後）は1,500億円であり、このうち、6年4月11日から平成7年1月17日までの間に使用した金額は433億円である。6年度各特別会計予備費の予算総額（補正後）は2兆7,679億円であり、このうち、6年12月12日に使用した金額は12億円である。6年度特別会計予算総則第14条に基づき6年9月9日から同年12月9日までの間に経費の増額をした金額は126億円である。

予備費使用等の主な費目は、次のとおりである。

平成4年度一般会計の予備費使用（その2）は、①老人医療給付費負担金の不足を補うために必要な経費、②義務教育費国庫負担金の不足を補うために必要な経費、③療養給付費等負担金等の不足を補うために必要な経費などである。

平成4年度特別会計の予備費使用は、①外国為替資金特別会計における外国為替等売買差損の補てんに必要な経費、②農業共済再保険特別会計家畜勘定における再保険金の不足を補うために必要な経費、③郵便貯金特別会計一般勘定における支払利子に必要な経費などである。

平成4年度特別会計予算総則第14条に基づく経費の増額（その2）は、郵便

貯金特別会計一般勘定における支払利子に必要な経費である。

平成5年度一般会計の予備費使用（その1）（その2）は、①皇太子徳仁親王殿下の御結婚に伴う経費、②国連平和維持活動に係る分担金の支出に必要な経費、③河川等災害復旧事業に必要な経費、④皮革及び革靴製造業等経営安定等特別対策に必要な経費、⑤老人医療給付費負担金の不足を補うために必要な経費、⑥療養給付費等負担金等の不足を補うために必要な経費などである。

平成5年度特別会計の予備費使用（その1）（その2）は、①食糧管理特別会計輸入食糧管理勘定における輸入食糧の買入れに必要な経費、②漁船再保険及漁業共済保険特別会計漁船普通保険勘定における再保険金の不足を補うために必要な経費などである。

平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費の増額（その1）（その2）は、①道路整備特別会計における道路事業及び街路事業の調整に必要な経費、②交付税及び譲与税配付金特別会計交付税及び譲与税配付金勘定における地方譲与税剰余金に必要な経費などである。

平成6年度一般会計予備費使用（その1）は、①国連平和維持活動に係る分担金の支出に必要な経費、②河川等災害復旧事業等に必要な経費、③予防接種事故訴訟に係る損害賠償に必要な経費、④公害影響地域振興対策に必要な経費などである。

平成6年度特別会計予備費使用（その1）は、農業共済再保険特別会計果樹勘定における再保険金の不足を補うために必要な経費である。

平成6年度特別会計予算総則第14条に基づく経費の増額（その1）は、①港湾整備特別会計港湾整備勘定における港湾整備事業の調整に必要な経費、②道路整備特別会計における道路事業及び街路事業の調整に必要な経費などである。

決算調整資金からの歳入組入れ調書2件は、一般会計の歳入歳出の決算上生じた不足を補てんするため、同資金から一般会計に、4年度は1兆5,447億円、5年度は5,663億円を組み入れたことについて、決算調整資金に関する法律に基づき、国会の事後承諾を求めるために提出されたものである。平成4年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書は第129回国会の6年1月31日に、5年度の同調書は第132回国会の7年1月20日に提出された。

予備費関係12件及び決算調整資金からの歳入組入れ調書2件は、いずれも衆議院において継続審査となっていたが、第134回国会の7年12月5日に衆議院より送付され、同日委員会に付託された。

委員会においては、これら14件を一括して議題とし、まず大蔵大臣から説明を聴取した後、質疑を行った。その主な項目は、①予備費の審議促進、②予備費の増額とP K Oへの活用、③老人医療給付費等に対する国庫負担金への予備

費使用、④関税割当制度の見直しに伴う予備費使用、⑤決算調整資金制度の存在意義などである。

質疑を終局した後、討論に入り、日本共産党の筆坂理事より、平成4年度特別会計予備費、平成5年度一般会計予備費（その1）、平成6年度一般会計予備費（その1）、決算調整資金からの歳入組入れ調書2件に反対、その他の予備費関係9件には賛成、自由民主党・自由国民会議の佐藤理事より、予備費関係12件及び決算調整資金からの歳入組入れ調書2件にいずれも賛成の意見がそれぞれ述べられた。

討論を終わり、採決の結果、平成4年度特別会計予備費、平成5年度一般会計予備費（その1）、平成6年度一般会計予備費（その1）、決算調整資金からの歳入組入れ調書2件はいずれも多数をもって、その他の予備費関係9件は、いずれも全会一致をもって、承諾を与えるべきものと議決した。

（2）委員会経過

○平成7年9月6日（水）（第133回国会閉会後第1回）

○平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、通商産業省、中小企業金融公庫及び中小企業信用保険公庫関係について橋本通商産業大臣、会計検査院、中小企業庁、自治省、通商産業省及び資源エネルギー庁当局に対し質疑を行った。

○平成7年9月13日（水）（第133回国会閉会後第2回）

○平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、運輸省及び郵政省関係について平沼運輸大臣、井上郵政大臣、運輸省、気象庁、郵政省、総務庁、会計検査院、科学技術庁、通商産業省及び大蔵省当局に対し質疑を行った。

○平成7年9月14日（木）（第133回国会閉会後第3回）

○理事の補欠選任を行った。
○平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、法務省、労働省、防衛庁及び裁判所関係について田沢法務大臣、青木労働大臣、衛藤防衛庁長官、法務省、最高裁判所、自治省、建設省、労働省、会計検査院、文化庁、防衛庁及び外務省当局に対し質疑を行った。

○平成7年9月20日（水）（第133回国会閉会後第4回）

○理事の補欠選任を行った。
○平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、自治省、警察庁、総務庁及び公営企業金融公庫関係について深谷国務大臣、江藤総務庁長官、

自治省、会計検査院、厚生省、警察庁、海上保安庁、大蔵省、郵政省、法務省、総務庁、運輸省、建設省、労働省、総理府、通商産業省、公正取引委員会、公安調査庁及び外務省当局に対し質疑を行った。

○平成7年9月27日（水）（第133回国会閉会後第5回）

- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、文部省及び科学技術庁関係について島村文部大臣、浦野科学技術庁長官、文部省、外務省、科学技術庁、公安調査庁、法務省、大蔵省、会計検査院、文化庁及び資源エネルギー庁当局に対し質疑を行った。

○平成7年9月28日（木）（第133回国会閉会後第6回）

- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、厚生省、農林水産省、環境庁、農林漁業金融公庫及び環境衛生金融公庫関係について野呂田農林水産大臣、大島環境庁長官、森井厚生大臣、農林水産省、環境庁、食糧庁、厚生省、法務省、自治省、林野庁、会計検査院、大蔵省当局及び参考人年金福祉事業団理事加藤栄一君に対し質疑を行った。

○平成7年10月30日（月）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査を行うことを決定した。
- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件の審査並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のため政府関係機関等の役職員を必要に応じ参考人として出席を求めることを決定した。
- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、建設省、北海道開発庁、沖縄開発庁、国土庁、住宅金融公庫、北海道東北開発公庫及び沖縄振興開発金融公庫関係について森建設大臣、池端国土庁長官、高木国務大臣、政府委員、会計検査院、自治省、建設省、消防庁、公正取引委員会、法務省、資源エネルギー庁、通商産業省、農林水産省、厚生省、総務庁、林野庁、環境庁当局及び参考人日本下水道事業団理事長木内啓介君に対し質疑を行った。

○平成7年12月5日（火）（第2回）

- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、外務省関係について河野外務大臣、政府委員、海上保安庁及び水産庁当局に対し質疑を行った。

○平成7年12月11日（月）（第3回）

- 平成4年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その

2) (第129回国会提出) (衆議院送付)

平成4年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成4年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その2)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成4年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書(第132回国会提出)(衆議院送付)

以上14件について武村大蔵大臣から説明を聴いた。

- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件中、皇室費、国会、会計検査院、内閣、総理府本府、大蔵省、経済企画庁、国民金融公庫、日本開発銀行及び日本輸出入銀行関係並びに予備費関係等14件について武村大蔵大臣、野坂内閣官房長官、宮崎経済企画庁長官、矢崎会計検査院長、政府委員、建設省及び労働省当局に対し質疑を行い、

平成4年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その2)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成4年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(第129

回国会提出) (衆議院送付)

平成4年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その2)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その1)(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その2)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成6年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その1)(第132回国会提出)(衆議院送付)

平成4年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書(第129回国会提出)(衆議院送付)

平成5年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書(第132回国会提出)(衆議院送付)

以上14件について討論の後、いずれも承諾を与えるべきものと議決した。

- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件の継続審査要求書並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 平成4年度決算外2件及び平成5年度決算外2件の審査並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のため政府関係機関等の役職員を閉会中必要に応じ参考人として出席を求めることを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

(3) 付託議案審議表

・予備費等承諾を求めるの件（14件）

件名	先議院	提出月日	参議院			衆議院		
			委員会付託	委員会決議	本会議決	委員会付託	委員会決議	本会議決
平成4年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その2）	衆	6. 1. 31 (第129回臨)	7. 12. 5	7. 12. 11 承諾	7. 12. 13 承諾	7. 9. 29	7. 11. 30 承諾	7. 12. 5 承諾
平成4年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書	〃	1. 31 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成4年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その2）	〃	1. 31 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成4年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書	〃	1. 31 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）	〃	4. 1 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）	〃	4. 1 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その1）	〃	4. 1 (第129回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その2）	〃	7. 1. 20 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その2）	〃	1. 20 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度特別会計予算総則第13条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その2）	〃	1. 20 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成5年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調書	〃	1. 20 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成6年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）	〃	3. 31 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾
平成6年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）	〃	3. 31 (第132回臨)	12. 5	12. 11 承諾	12. 13 承諾	9. 29	11. 30 承諾	12. 5 承諾

件名	先議院	提出月日	参議院			衆議院		
			委員会付託	委員会決議	本会議決議	委員会付託	委員会決議	本会議決議
平成6年度特別会計予算総則第14条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その1)	衆	7. 3.31 (第132回国会)	7.12. 5	7.12.11 承諾	7.12.13 承諾	7. 9.29	7.11.30 承諾	7.12. 5 承諾

・決算その他(6件)

備考欄記載事項は本院についてのもの

件名	提出月日	参議院			衆議院		
		委員会付託	委員会決議	本会議決議	委員会付託	委員会決議	本会議決議
平成4年度一般会計歳入歳出決算、平成4年度特別会計歳入歳出決算、平成4年度国税収納金整理資金受払計算書、平成4年度政府関係機関決算書	6. 1.31 (第129回国会)	7. 8. 4	継続審査		7. 9.29	継続審査	
		○第129・130回国会 未了 ○第131回国会 継続			6.12. 2	大蔵大臣報告 継続	
		○第132回国会 未了 ○第133回国会 継続					
平成4年度国有財産増減及び現在額総計算書	1.31 (第129回国会)	8. 4	継続審査		9.29	継続審査	
		○第129・130回国会 未了 ○第131回国会 継続			○第132回国会 未了		
		○第133回国会 継続					
平成4年度国有財産無償貸付状況総計算書	1.31 (第129回国会)	8. 4	継続審査		9.29	継続審査	
		○第129・130回国会 未了 ○第131回国会 継続			○第132回国会 未了		
		○第133回国会 継続					
平成5年度一般会計歳入歳出決算、平成5年度特別会計歳入歳出決算、平成5年度国税収納金整理資金受払計算書、平成5年度政府関係機関決算書	7. 1.20 (第132回国会)	8. 4	継続審査		9.29	継続審査	
		7. 2. 9	大蔵大臣報告 未了		○第133回国会 継続		
平成5年度国有財産増減及び現在額総計算書	1.20 (第132回国会)	8. 4	継続審査		9.29	継続審査	
		○第132回国会 未了			○第133回国会 継続		
平成5年度国有財産無償貸付状況総計算書	1.20 (第132回国会)	8. 4	継続審査		9.29	継続審査	
		○第132回国会 未了			○第133回国会 継続		